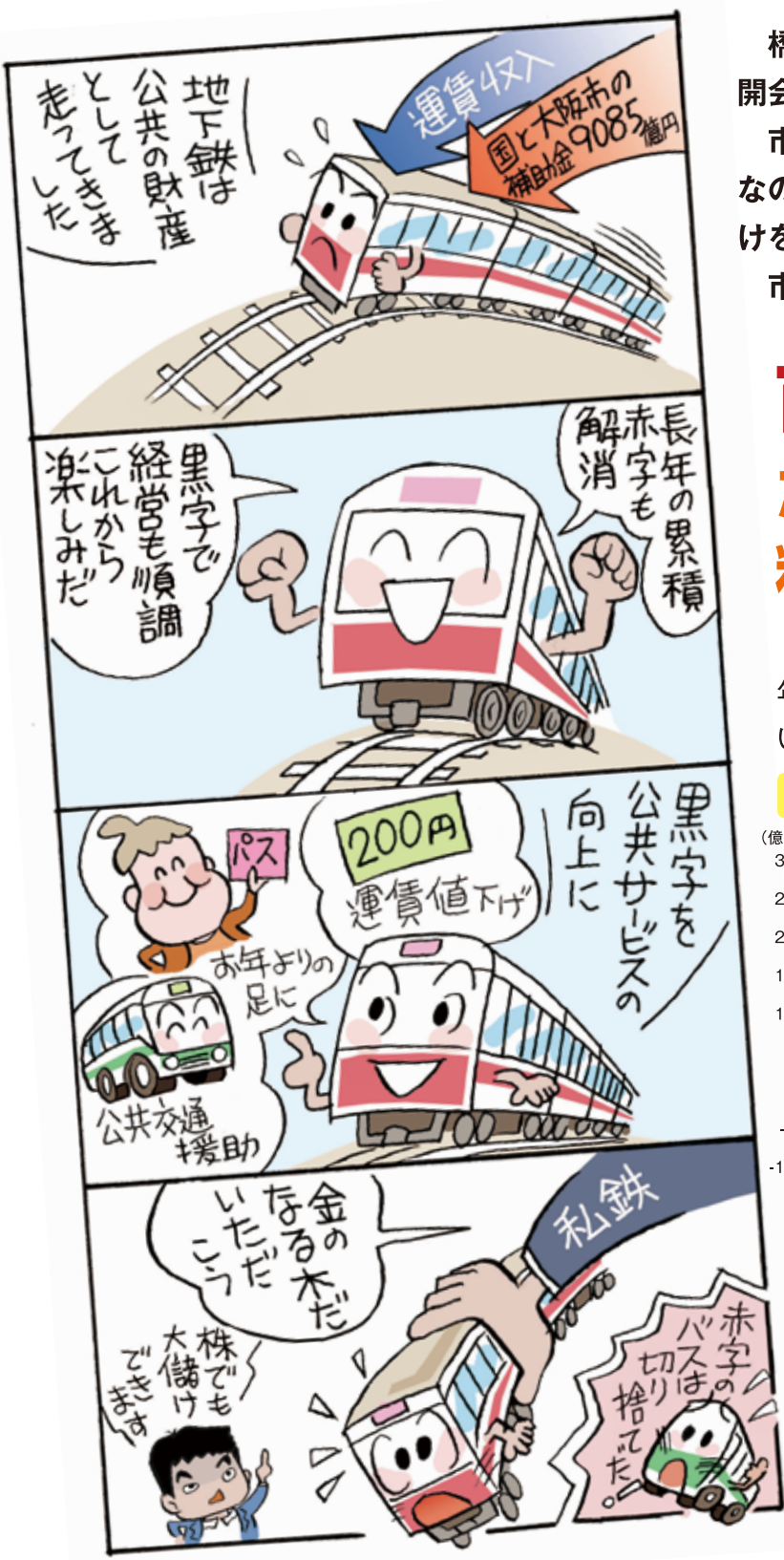


# 橋下市長! あまりに拙速ではないですか?

## 毎年黒字を生む地下鉄をなぜ民営化?

約200億円



橋下市長は、市営地下鉄と市バス事業の民営化・廃止条例案を2月15日開会の大阪市会に提案しました。

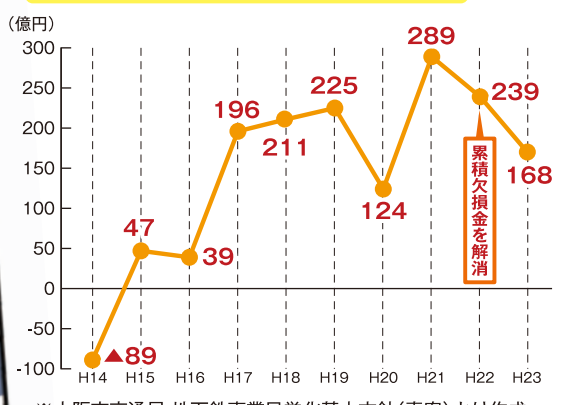
市営地下鉄は、毎年大きな黒字を生む「超優良企業」です。なぜいま民営化なのでしょう? 地域住民の足の市営バス・赤バスを切捨て、儲かる部分だけを民間に売り渡すことが市民のためになるのでしょうか?

市会議員の3分の2の賛成を必要とする重大な議案です。

### 市営地下鉄は超優良企業! だからできる、料金値下げとサービス向上

地下鉄事業は、この10年間毎年大きな黒字を生み出し、累積赤字は平成22年度に解消しています。また、路線延長の際の借金も毎年着実に減少を続けています。民営化しなくても、料金値下げや大阪市財政への還元は可能です。

地下鉄事業の経営成績の推移



※大阪市交通局 地下鉄事業民営化基本方針(素案)より作成

関西の私鉄と比べ、抜群の営業収益

	営業収益 (単位:百万円)	営業距離 (単位:km)
大阪市営地下鉄	1514億06	137.8
近畿日本鉄道	1565億13	508.1
阪急阪神HD	1293億29	192.5
京阪電鉄	531億88	91.1
南海電鉄	551億28	154.8

※平成23年「大手民鉄の素顔」「関西鉄軌道要覧」より作成。平成23年3月31日現在

### 橋下市長が国政進出?! 関西財界への持参金が

1月21日、関西経済同友会が「民営化実現を求める」提言を発表し、2月19日には大阪商工会議所が「民営化の早期実現を求める」意見書を市長や市会各派に送りました。そこには「株式の上場」との狙いが表明されています。地下鉄民営化は国政進出をめざす橋下市長にとって財界の支持を取り付ける持参金なのでしょうか?!

### ご存知ですか? バスの廃止案 地下鉄と一体運営で市民の足守れ

今ある132のバス路線は

43路線(赤バス26路線)=廃止	ただちに利用者にしわ寄せ
89路線=民営化	当面5年のみ、サービス内容や5年以降は不明

「市営交通」はもともと儲けが目的ではありません。「その本来の目的である公共の福祉を増進するように運営されなければならない」(地方公営企業法第3条)のです。

市営地下鉄の黒字は大きく、赤バスを含め市バス事業の赤字をカバーしてなお、バス路線の維持は十分可能です。地下鉄と市バス・赤バスが相互に利用客を運び合う関係を保ち、一体で運営できるのが市営交通の強みであり、市民の利益にかなうものです。